

兵庫県内各地で、アサギマダラが越冬のため、渡りのシーズンを迎えている。神戸市灘区の摩耶山上では、秋空を背にふわふわと飛ぶ光景を見ることができるといわれている。

チョウ目タテハチョウ科。羽を広げたときの幅は5〜6センチ。成虫は夏に日本各地の高い山や北日

神戸にアサギマダラ 南へ旅の途中

本に生息し、秋になると多くの個体が南下を始め、1日で数十キロ以上移動し、本土から南西諸島、台湾、中国へ渡る。摩耶山天上寺では、境内に咲くフジバカマの蜜を求め、多くの個体が飛来する。淡い水色の羽が陽光を浴び、透明感を増している。ほぼ毎年観察するといふ上内玲子さん「神戸市灘区には「今年の花の咲き具合も良く、例年以上に多い。小さくかわいらしいチョウが長い旅をすむ」と、頑張れと言っている。同寺境内での渡りの見頃は10月中旬ごろまで。」(中西大二)



秋空を背に乱舞するアサギマダラ
神戸市灘区摩耶山町

……NEXTに動画